

Japan Alps Cycling ブランド構築事業

観光部観光誘客課

1 目的

世界水準の山岳高原リゾートを実現する重要なコンテンツとして自転車の活用による観光地域づくりを進め、長野県のサイクルツーリズムをJapan Alps Cycling ブランドとし構築する。

2 現状及び課題

サイクルツーリズムの推進にオール長野で取り組む体制「Japan Alps Cycling プロジェクト」が立ち上がり、全県的なサイクルツーリズム推進の気運が高まっている。

また、元気づくり支援金を活用したe-BIKEの導入が各地で進む等、サイクリングを楽しむための環境整備が進んでいる。

一方、サイクルツーリズム推進に対する取組みについて、地域ごとのスピードに差が生じており、サイクルツーリズム推進の必要性を理解いただき、地域の中から熱意を高めていくことが必要となっている。

3 事業内容

(1) Japan Alps Cycling プロジェクト負担金

- ・サイクルツーリズムに特化したホームページの運営

(2) サイクルツーリズムに関するマーケティング調査の実施

- ・サイクリストのニーズや今後の施策展開の方向性を把握するための調査を実施

(3) サイクリスト受入に当たっての環境整備の検討

- ・長野県1周サイクリングルートへの検討への支援
- ・サイクリストにやさしい施設、サービスを充実するための検討への支援
(検討会議 2回)



【アルクマ(サイクリング ver)】

<参考>Japan Alps Cycling プロジェクトについて

- (1) 設立 令和元年6月18日
- (2) 代表 鈴木 雷太氏 (2000年シドニー五輪MTB日本代表、現MTB日本代表監督)
- (3) 事務局 一般社団法人ライド長野
- (4) 会員数 65団体 (自転車活用団体、DMO、観光協会、観光事業者、行政、自転車活用企業等)



【ロゴマーク】

【各市町村・広域連携組織等による観光コンテンツの充実に向けて】

①Japan Alps Cycling Road ver. 1.0の磨き上げ

Japan Alps Cycling プロジェクトの鈴木代表などプロジェクトメンバーがルートの磨き上げに向けた試走を実施。これまで6回に分けて計約600km試走を行い、妥当性を検証。

②Japan Alps Cycling プロジェクトと会員や関係団体との意見交換会の開催

プロジェクトの活動への理解促進と、県1周ルートを核とした観光コンテンツの検討等のため、中南信の関係者を対象とする意見交換会を7月に開催し、約50名が参加。今月末には、東北信の方を対象に同様の意見交換会開催を予定し、広域連携強化を図っている。

③Japan Alps Cycling ブランドの発信

長野県のサイクルツーリズムを「Japan Alps Cycling ブランド」として統一的に発信するため、SNSやHPなど様々なWeb媒体を活用し、「#JapanAlpsCycling」を付けた情報発信や、Japan Alps Cyclingのロゴマークの活用を通じたブランド発信にご協力をお願いします。また、アルクマのサイクリングバージョンの活用も合わせてお願いします。

※ロゴデータやアルクマのイラストデータは県公式HPでダウンロードいただけます。

「Japan Alps Cycling」ブランド構築事業

道路管理課

事業の目的

世界水準の山岳高原リゾートを実現する重要なコンテンツとして、自転車の活用による地域づくりを進めるため、長野県自転車活用推進計画に基づき、自転車通行空間を整備します。

事業の必要性

北アルプス、中央アルプス、南アルプスといった雄大な自然や歴史・伝統文化などの豊富な観光資源を持つ長野県では、県内各地においてサイクリングイベントが多数開催される等、自転車を活用した観光地域づくりが注目されており、世界的な視点での魅力の発信や観光客の受入体制の整備が急務となっています。

今後、本県を世界水準の山岳高原リゾートにしていくため、快適で魅力あるサイクルツーリズムの環境整備等に多面的に取り組むことが求められています。

また、生活道路における安全確保も課題となっており、そうした観点も含めて、安全な自転車通行空間の整備が必要となっています。

これらの整備について、平成 31 年 3 月に策定された「長野県自転車活用推進計画」に基づき実施する必要があります。

事業内容

【取組内容】

・「Japan Alps Cycling Road」の整備

「諏訪湖周サイクリングロード」「北アルプス地域サイクリングモデルコース」を長野県 1 周のモデルルート「Japan Alps Cycling Road」の先行整備区間として整備します。

・既存自転車道のリニューアル

貴重な観光資源となる既存の自転車道である「千曲川サイクリングロード」「あづみ野やまびこ自転車道」の舗装や路面表示によるリニューアルならびに積極的な広報により利用を促進します。

・自転車走行空間の安全対策

生活道路の安全対策として、矢羽根型路面標示などにより自転車通行空間を整備します。

・わかりやすいルート案内の設置

訪日外国人を含むサイクリストが迷うことなく走行できるよう、わかりやすい案内標識を整備します。



諏訪湖周サイクリングロード
供用区間 (R 元. 8 月供用区間)



北アルプス地域サイクリングモデルコース
整備区間 (矢羽根型路面標示)



千曲川サイクリングロード
リニューアル区間